



ADRC Highlights

Vol.77

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

September 1, 2003

➤ 国際防災オープンフォーラムが10月4日に国連大学にて開催、参加者募集中

あの関東大震災から今年9月で80周年を迎えます。また10月8日は国連が定めている国際防災デーであり、「防災」の大切さを見直し、災害に対する知識を深め、効果的な対策を推進するためのキャンペーンが世界各地で繰り広げられる予定です。

このたび、アジア防災センターは、国連大学および内閣府、国連国際防災戦略（ISDR）事務局、世界地震安全推進機構（WSSI）との共催により、国際防災オープンフォーラム「地震の備えは万全か？～関東大震災80周年の国際防災デーに考える～」を

10月4日（土）14～18時、東京の国連大学にて開催します。参加費は無料で、どなたでも参加できます。

講師は、片山恒雄（防災科学研究所理事長）、目黒公郎（東京大学助教授）、Haresh Shah（スタンフォード大学名誉教授）、David Mammen（ニューヨーク行政研究所所長）の4人で、それぞれの専門分野である「関東大震災の教訓と復興」や、「地震に強い建物の重要性」、「地震による経済被害」、「都市計画や危機管理」など、地震防災に関する現状と対策について分かりやすく講演します。参加を希望される方は、9月26日までに氏名・職業・住所・電話/FAX番号をeqforum@hq.unu.edu へてに送信願います。当フォーラムについての詳しい情報はhttp://www.adrc.or.jp/OpenForum_200310/Public_Forum_20031004_en.htmでもご覧いただけます。みなさまのご参加をお待ちしています。



➤ 災害レポート: アッサム・ビハール(インド)の洪水

インドで発生した洪水について、元当センターの客員研究員であり、現在はインド国政府内務省防災局長補佐のV.P. パスリジャ氏より、下記のとおり最新レポートが届きましたので報告します。

アッサム州で洪水が始まったのは6月16日ですが、同地方の24ある地区のうち22地区が被害を受けました。アッサム地方は、ブラマプトラ川やその支流が流れており、降水量も多く隣国からの流水もあることから、

インドの中でも洪水の被害を受けやすい地域となっています。同州における被害は、被災者数は523万人、損壊家屋数4,660戸、死者数は30名となっています。

また、ビハール州では、6月30日以来、同州の38地区のうち17地区が洪水による被害を受けています。州における被害は、被災者数360万名、損壊家屋数10,976戸、死者数72名となっています。

インド政府は、今回の洪水によって被災した地域に対して、災害救援基金といった形で現金を用意するなど、救援・救済・リハビリ対策に着手しています。詳細は、インド国政府内務省防災局が作成した災害状況報告書<http://www.ndmindia.nic.in/flood2003/report1.htm>をご覧ください。

➤ ADRC 外国人客員研究員レポート □ ソバルナ・ラックマン氏(インドネシア)

私は、インドネシア国政府エネルギー・鉱物資源省にある火山/地質災害研究所で首席研究員としての勤務しております。これまで、地質環境問題についての取り組みや、地方政府やNGOの担当者に対して防災関連の指導を行うなどのプロジェクトについて携わってきました。

インドネシアは、1万7千余りの島々から構成され、火山帯や山岳、断層、河川、湖沼などが点在していることからわかるように、地形・地質的に非常に複雑多岐にわたっています。このような地質の多様性が言うまでもなく、自然災害を引き起こす要因となっており、火山噴火や地震、津波、地滑り、洪水など様々な災害が起こりやすい状況にあります。地滑りや土石流、洪水などは大雨が降ることで頻繁に発生しており、その傾向は近年ますます深刻になっています。とりわけ、地滑りなどの土砂災害は、発生地域が予想しにくく、環境破壊との因果関係にもあります。

わがインドネシア政府では、こういった自然災害に対応すべく、次のような3つの政策を掲げて取り組んでいます。軽減・抑制・リハビリ活動を重視する、災害被害者を迅速に避難させ、安全に誘導する、そしてこうした防災活動になるべく多くの関係者を取込むことです。

ADRC客員研究員としての目標は、ADRCメンバー国間における防災関連情報を共有すること、日本の防災対策について学ぶこと、その学んだ技術を自国の発展のために活用することです。

（ソバルナ・ラックマン首席研究員、インドネシア国政府エネルギー・鉱物資源省火山/地質災害研究所）



ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行（予定）